

# 令和8年 **1**月の**思いやり**通信



## **温暖化で氷河の消失3~5倍に 今世紀半ばにも可能性**

### **チューリッヒ工科大など分析**

\* スイスのチューリッヒ工科大学などの研究グループは、世界中で毎年消失する氷河の数が今世紀半ばごろに現在の3~5倍の年2000~4000か所に達すると分析。

\* 近年は温暖化の影響で氷河が急速に縮小。

\* 下流域での水不足や土砂災害、海面上昇を引き起こす要因となっています。

\* 2100年までに産業革命前から気温が1.5度上昇の温暖化では、氷河消失のピークは2041年に訪れ、年間約2000か所がなくなると推定。

\* 4度上昇のシナリオでは、2050年代半ばに年間約4000か所が消える可能性。

\* アルプス山脈の氷河が1年間ですべて焼失する規模。

\* 現状の温暖化対策を続けた場合に達する2.7度上昇のシナリオは、2040~2060年にかけて毎年3000か所の氷河がなくなると予測。

(2025年12月23日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## **太陽光支援、メガ→屋根型**

### **政府方針 設置余地、最大原発6基分**

\* 太陽光パネルのこれまでは大規模太陽光発電所(メガソーラー)が中心でしたが、政府は今後、工場や商業施設などの屋根置きを導入を増やします。

\* 原子力発電所2~6基分の設置余地があるとの民間試算があります。

\* 日本発技術の「ペロブスカイト太陽電池」への支援も手厚くします。

\* 太陽光発電累計の導入量は2023年度に7704キロワットで、2011年度から15倍に。

(2025年12月24日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)